

## ご 報 告

## ① 西砂町地域との協議

西砂川循環線の減便への対応について、くるりんバス・西砂川循環それぞれの沿線地域の周辺自治会の役員の皆さんと意見交換会を行いました。内容については以下の通りです。

- ① 開催日時 令和3年8月25日（水）19時～20時
- ② 開催場所 西砂学習館
- ③ 出席者 西砂町の5自治会の代表者 11名
- ④ 協議案 西砂殿ヶ谷経由で運行しているくるりんバスのルートのダイヤの一部を西砂町二丁目回りで運行する変更案をベースに協議を開始
- ⑤ 主な意見
  - ・西砂町3丁目地区の住民が増えているので、五日市街道周りのルートも復活してほしい。
  - ・西砂殿ヶ谷経由のダイヤを減らすのは止めてほしい。
  - ・西武立川駅から昭島駅に行く路線バスは一定数あるので、西武立川駅を起終点として、地区を回るルートにすれば本数は増えるはず。
  - ・地区内は狭いので、小回りが利くようにワンボックスタイプのバスを導入してはどうか。

## ② 市民の移動に関するプロジェクト（庁内プロジェクト）について

市職員による「立川市民の移動に関する検討プロジェクト」を8月31日に開催しました。内容については以下の通りです。

- ① 現状等の把握について
  - ・市政に関するアンケート集約結果報告

公共交通機関の利便性についての満足度が、市内全域では82.3%であったのに対し、西砂町・一番町・上砂町がどの年代でも低い満足度となった。また、バスの利用については70歳以上について利用すると回答した割合が高い結果となった。外出の際の困りごと等については別紙参照。

- ・西砂町の地域課題の解消にむけた懇談会準備会報告

交通不便解消という地域課題をきっかけに、西砂町の住民が住み続けていくために必要なこととは何か、今何ができるのかを、地域住民と共に模索していく場をつくろうと、地域の福祉関係者、高齢福祉課、交通対策課で協議しました。「西砂町からのお出かけ」ではなく「西砂町への流入」を目指した取り組みができると良いという意見があり、西砂地区の魅力について再発見するプロジェクトを立ち上げることになった。

- ・地域福祉コーディネーターとのミーティング報告

立川市内を6地域に分け、それぞれの地域に社会福祉協議会の地域福祉コーディネーターが在籍しているため、地域の交通事情及び移動に関する課題を聞き取った。バスの便についての要望や道路事情等、それぞれの地域の特性からの意見が寄せられた。

② 課題と対応等について

公共交通機関について市内北西部の満足度が大幅に低く、引き続きくるりんバスを含めた対策が必要と考えられるが、バス路線網の整備には道路事情等の限界もあり、立川市では交通不便地域は可能な限り解消してきている。移動に関する困りごとへの支援を、地域の活性化につなげていけないか。生活の質向上のための移動、外出のきっかけづくりは移動手段だけでない解決法もあるのでは。

公共交通を維持していく観点からも既存の交通網をぜひ利用してほしい。難しい場合は福祉での対応となる。

地域ごとの特性があるため、地域住民と話し合い、地域特性に対応した解決策が必要ではないか。まずは西砂町で取り組んでいく。